



呉市立天応学園の校歌及び校章の完成について

令和5年4月に開校する呉市立天応学園の校歌及び校章（別紙資料1，資料2）が完成したので、情報提供します。

また、天応小学校及び天応中学校の児童生徒に、下記の日程で校歌を披露します。

披露の際は、作詞者及び作曲者から校歌に込めた思いを児童生徒へ伝えていただくことにしています。

1 校歌及び校章

(1) 校歌

【作詞】

天応小学校，天応中学校の児童生徒から，校歌で使用して欲しい「言葉」を募集し，集まった言葉と地元が大切にすること大事な言葉を用いることとして，天応地区の歴史に詳しい，天応地区自治会連合会の友井会長に依頼

【作曲】

平成30年豪雨災害時に天応小学校に勤務しており，以前にも児童と一緒に作った曲が天応にあった店舗で放送されていたこともあったことから，呉市教育委員会学校安全課の奥村指導主事に依頼

(2) 校章

配色及び「天応」の書体を天応中学校 吉崎教諭（美術担当）に依頼し，生徒と共同で制作

2 校歌披露

開催日：令和5年1月13日（金）

時 間：10時40分から（小学5，6年生及び中学生）

11時40分から（小学1～4年生）

場 所：呉市立天応小中学校 体育館

呉市天応大浜2丁目1番64号

対 象：児童生徒

呉市立天応学園の校歌について

天応学園校歌

作詞 友井 輝道
作曲 奥村 愛

一 緑の萌える 天狗城

笑顔あふれる 学び舎に

未来の希望を 抱きつつ

学びの道を 励み行け

ああ天応 わが母校 天応学園

二 朝日に映える 城の山

永遠の記憶が 眠る丘

我らが理想を 探りつつ

親和の心 育て行け

ああ天応 わが母校 天応学園

三 清き流れる 大屋川

小さなせせらぎ 瀬戸の海に

大きな夢を 拓きつつ

正しき心 磨き行け

ああ天応 わが母校 天応学園

天応学園校歌 作曲にあたっての思い

天応学園校歌の作曲にあたり、天応の子どもたちが生きる希望をもち、子どもたちの背中を押せるような歌ができたという気持ちを含めました。

天応の子どもたちは、災害時、大変な困難を経験しました。土砂で自宅が埋まり家を失ってしまった子、母親が川に流され母親を失った子もいました。生活が一変し、子どもたちの心はとても不安定な時期が続きました。

そんな中、学校再開により久々に仲間と再会した子どもたちに笑顔が戻りました。仲間と共に過ごせることの喜びや安心、そして共に学べることの喜びをひしと感じ入っている子どもたちの姿が、今でも忘れられません。

そして、何より、天応の町の復興は、多くの方々の支援なきには語れません。そのことは、誰より子どもたちは感謝の気落ちを強く胸に抱いています。子どもたちには、皆様から頂いたそのご恩を忘れず、未来の希望をもち、たくましく精一杯生きていくと願っています。

令和四年十二月一日

呉市教育委員会 教育部学校安全課 指導主事 奥村 愛
(元 呉市立天応小学校教諭)

【一番】

常に命を燃やしながら精一杯生きる森は、希望の象徴でもある。

天狗城は、天応学園の子どもたちを、どんな時にも変わらず温かく見守り続けている。

あなたがあなたでいることの素晴らしさを受け止め、仲間と共に学びあえる喜びを感じつつ、生きる希望をもち続けて欲しいと願う。

【二番】

城の山や天応山には、神話との関わりが深い歴史がある。

私たちの生命は、自然の恵みからのほか、親や先祖などの縦の糸と、仲間や先生、地域の人、先人たちからなる横の糸とで織りなされている。

私たちの生命をつないでくれる自然の恵みや、支えて下さる全ての人たちに感謝しつつ、人を思いやる心を育てて欲しいと願う。

【三番】

大屋川のせせらぎは、やがて瀬戸の大海へとつながっていく。

学び得た知識や知恵は、これから生きていく中で、自分を生かすことや人を助けることにつながって欲しい。

大海の一滴は、あなたの命の一滴であり、それは欠けてはならないものである。一人一人が自分の命を精一杯生きていくと願う。

呉市立天応学園の校章について

【色に込めた思い】

天応は、山に囲われ、眼前には瀬戸内海が広がる。また、東の城山から登る太陽は、西の江田島に沈む。こうした太陽の動きや四季の移り変わりに伴い、山や海は、自然美しい豊かな表情を魅せている。

そこで、この地に開校する天応学園のシンボルとなる校章には、山と海を象徴する緑や青を用いた。そして、制定当初の校章のカシの木と瀬戸内海に託した人間としての成長を、それぞれの中心から外に向かうグラデーションで表現した。



【3枚のカシの葉と波の意味について】

天応中学校は校歌にも歌われているように、北に天狗城山、東には城山、南には天応山と三つの代表的な山に囲われている。これらの山々にすくすくと伸びるカシの木に「高い理想と自覚」を託し、眼下に広がる鏡のような瀬戸内海に「無限の夢と寛大な心」を望み、校章が制定されている。

なお、天応小学校と同じ校章であることは、小、中学校の協力と連携を重視、一体となって天応教育の発展を願う地域性が表れている。

[昭和27年7月 校章・校歌制定発表]